



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成21年12月 臨時

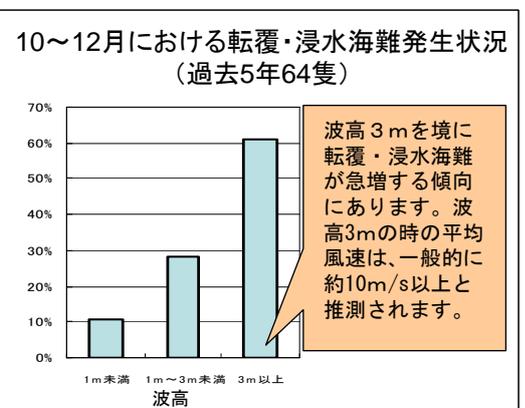
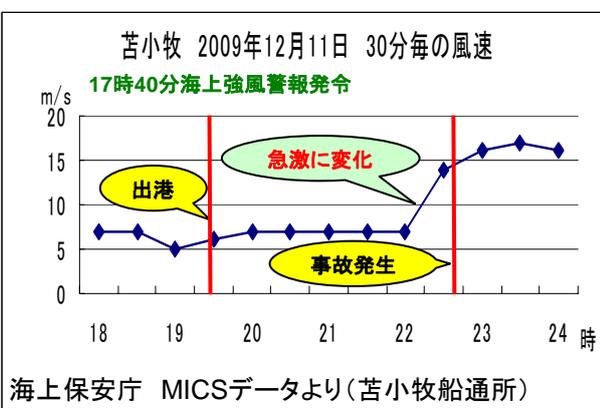
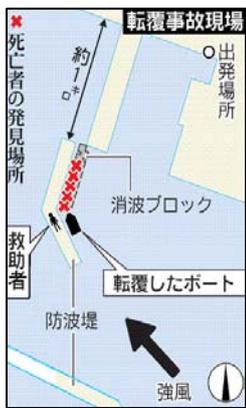
～苦小牧東港内にて、プレジャー転覆海難(6名死亡)～ 悔ってはいけない冬の海

新聞報道などで既にご存知のとおり、12月11日夜、苦小牧東港沖の防波堤付近で、帰港準備中のプレジャーボートが転覆し、乗船者7名の内1名が救助され、6名が死亡する痛ましい海難が発生しました。

海難発生当時の現場付近の最大瞬間風速は約17メートルで、波の高さ5メートルと荒れており、水温は9度でした。

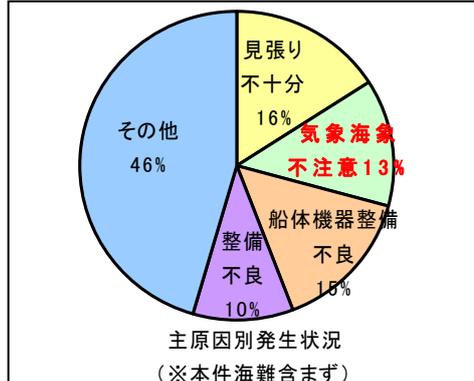
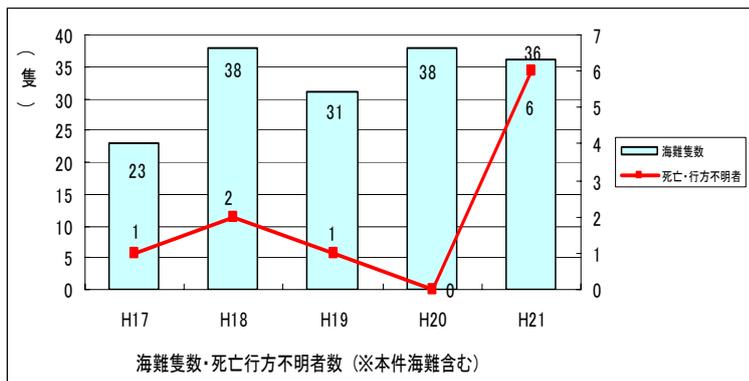
この時期は、発達した低気圧の影響などで強風が吹き、波が高くなるため、ちょっとした油断が生死を分ける大きな海難に繋がります。

気象・海象の情報収集に努め、気象警報等発令の際は、勇気をもって出航を中止しましょう。



毎日新聞より(12日版)

過去5年間のプレジャーボート、遊漁船海難(H21年は12月12日現在までの速報値)



- 道内における主なプレジャーボート、遊漁船の海難
- H14年 9月 サロマ湖でプレジャーボートが気象海象不注意の転覆・沈没、7名が死亡
 - H15年 3月 厚田沖合いでプレジャーボートが気象・海象不注意により転覆、1名が死亡
 - H16年 7月 美国沖合いでプレジャーボートが見張り不十分のため衝突、1名が行方不明
 - H17年 8月 塩谷沖合いで手漕ぎボートが転覆、1名が死亡
 - H18年 5月 伊達市沖合いで手漕ぎボートが転覆、2名が死亡
 - H19年 9月 宇登呂沖合いで遊漁船が他船と衝突、1名が行方不明

悲惨な海難は、「せっかくの休みだから」、「せっかく来たのだから」、「前から予定していたから」などから無理をし、海の状況をないがしろにしていることから発生しています。
「だれか、やめようと言っていたら」を繰り返してはなりません。